

<参考資料1. 当社紹介資料>



デジタルトランスフォーメーションにより 「これまでを捨てる」決意を持ち、 エネルギー業界の未来を変える新ビジネスの実現に挑戦します。

これまでを捨てる決意

デジタルトランスフォーメーションによる従来業務の刷新

当社はこれまでに、基幹業務システム「雲の宇宙船」により業務のペーパーレス化、モバイル化を実現し、デスクトップ業務の90%を廃止しました。これらの取り組みに加え、当社は最新 ICT を駆使し、従来業務の刷新を進めています。

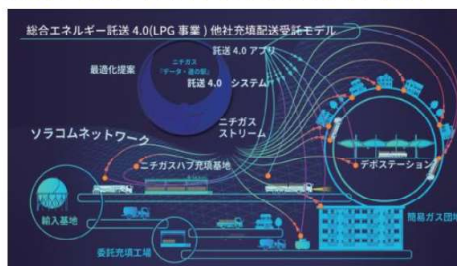
具体的には①内製ボットおよび RPA の活用による従来業務の廃止、②エストニアのブロックチェーン技術を活用した、データベースを横断して検索する「ニチガスサーチ」の開発 および運用、③ペーパーレス化、印鑑レス化による紙

の契約書の廃止、およびサービスのキャッシュレス化を実施しています。これらの取り組みは、業務時間の短縮や紙を用いないサービス提供を可能にし、お客様のストレスを軽減します。

エネルギー業界の未来を変える 新ビジネスの実現に挑戦

当社は、経営トップが中心となり、「これまでの成功を捨てる」決断をし、新ビジネスの実現に挑戦しています。

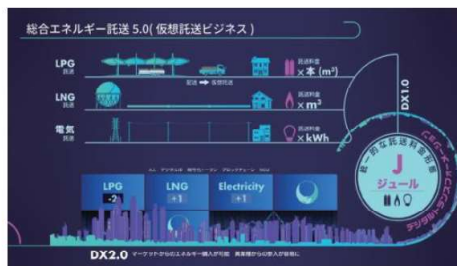
目下、①ICTによる完全自動化を目指すハブ充填基地「夢の絆・川崎」の建設（2020年完成予定）、②IoT 機器によるガスボンベ、メーター、配送車両等のオンライン化、③雲の宇宙船の各機能を、個別または自由な組み合わせで運用可能にする「データ・道の駅」の構築を進めています。



総合エネルギー託送4.0(LPG事業)

総合エネルギー託送

当社は、夢の絆・川崎を旗艦とした、総合エネルギー託送を実現させます。これは、夢の絆・川崎の膨大なボンベ充填能力と、LPガスの充填、配送の更なる効率化を活かした、LPガス充填配送受託サービスです。このサービスを利用するLPガス事業者は、充填、配送にかかるコストを大幅に削減できます。



総合エネルギー託送5.0(仮想託送ビジネス)

当社は将来的に、総合エネルギー託送の対象にLNGや電気を加え、仮想託送ビジネスの構築を目指します。また、日本初のガス・エネルギー取引所の実現に挑戦します。そこでは、ガスと電気の料金計算にかかる単位消費量は統一され、エネルギー事業への参入が容易なものになります。

シェアリングエコノミーサービス

当社は、データ・道の駅を通じて、雲の宇宙船の各機能を様々な事業者オープン化（外販）するほか、各事業者が持つ機能もデータ・道の駅にて共同運用できる仕組みを構築しています。将来的に、デジタルID、AI、ブロックチェーンの技術を活用し、データ・道の駅を核としたシェアリングエコノミーサービス・プラットフォームと、ビッグデータビジネスの実現を目指します。

攻めのIT経営・5つの評価軸別取り組み状況

